

はじめに

渡辺 ひかり

第1章では「大都市の地方性～地域活性化などを例にして～」というテーマのもと、それぞれが対象都市を調査した。

まず第1節では経済活動に焦点を当て仙台市を調査している。支店経済と言われている仙台市の経済のあり方のメリットやデメリットを調査し、一人一人が自信を持って経済活動を行うためにはどうすればよいかということ考察している。

第2節の調査都市は同じく仙台市だが、この節では仙台市にある3つのプロスポーツチームについて述べている。スポーツが地域に与える経済効果や、地域住民にもたらす精神的影響について調査している。

第3節では新庄市のNPO法人AMPについての調査結果が述べられている。地域活性化のためにこの団体が行った活動と、その活動がきっかけでつながった全国の都市についても述べている。

第4節の調査都市は佐渡市だ。「行政」、「企業」、「市民」という3つの点に注目し、様々な視点から地域活性化に向けた取り組みをまとめている。

第5節では広島市を調査している。また宇都宮市の「カフェ」の取り組みに注目し、広島市との比較がなされている。カフェが街に与える影響や、カフェを通しての地域活性化について調査している。

このように、視点はそれぞれ異なっているが、どの節でも地域とのつながりや地域活性化についての考察を見ることができる。